

事務局（堂前芳昭） 忠類中学校の二川議員、議長席にご着席願います。

議長（二川咲恵） これより議長をつとめます。忠類中学校二川咲恵です。よろしく
願います。

[一般質問再開]

議長（二川咲恵） 会議を再開し、引き続き一般質問を行います。

次に糠内小学校、山田拓哉議員の発言を許します。

7番、山田拓哉議員。

7番（山田拓哉）

私の通学路には、歩道がない部分がたくさんあります。今は、バスで通学している
ので、そう大きな問題はありませんが、中学校に通うようになり部活動などを始めると、
自転車を使うことも考えられます。そういったときに、歩道がない道路を使うのは不安
です。私のような不安を抱えている人は結構いるのではないのでしょうか。通学
路に歩道を整備することを一層進めていただきたいと思います。いかがでしょうか。

議長（二川咲恵） 岡田町長。

町長（岡田和夫）

山田拓哉議員のご質問にお答えいたします。

歩道の整備についてであります。

幕別町には現在982路線の町道があります。延べの長さは879 k mに達しています。

また、その内歩道がある道路は約150 k mで、全体の17.1%となっています。

歩道の設置は、交通安全上の観点から車両や歩行者の一日あたりの通行量などを考
慮して決められますことから、どうしても市街地の交通量や歩行者数の多いところを
先に整備しているのが現状であります。

また、通学路として指定されている路線なども一般の道路に比べて優先される要件
であります。近年はあまりお金をかけないよう歩道ではなく道路全体の幅を広げる
ことで歩行者が通りやすくなる工夫をしている道路もあるようであります。

いずれにしても、今後も車両の通行量や歩行者数の状態などそれらの状態を十
分調べたうえで、安全で快適な道づくりに努めてまいりたいと考えております。

以上で、山田拓哉議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

議長（二川咲恵） 以上で、山田拓哉議員の質問を終わります。

次に糠内小学校 館 侑子議員の発言を許します。

8番、館 侑子議員。

8番（館 侑子）

忠類村と合併をしてたくさんの仲間が増えました。小学生の仲間も増えてとてもう
れしいです。この合併を記念して、新たなお祭りを企画してはどうでしょうか。忠類
の住民も、幕別の住民もみんなが仲良く過ごしていけるし、ますます元気が出ると思
いますが、いかがでしょうか。

議長（二川咲恵） 岡田町長。

町長（岡田和夫）

館 侑子議員のご質問にお答えいたします。

合併記念事業についてであります。

ご承知のように、本年2月6日に、幕別町と忠類村が合併し、新幕別町が誕生してから、早くも、9ヶ月を迎えようとしおります。

この間、大きな混乱もなく、まずは、順調に新しいまちづくりが進められているものと考えております。

ここに至るまでには、町民の皆さんの深いご理解、ご協力をいただいたことに対しあらためてお礼を申し上げたいと思います。

ただ今、館議員から、合併してたくさんの仲間が増えた。小学生の仲間も増えてうれしいとのお話がありましたが、この合併をして良かったとお聞きし、私も大変うれしく思っております。

ご質問の中でもありましたように、合併後のまちづくりを進めて行く上では、幕別の住民も忠類の住民も仲良く過ごしていくこと、幕別と忠類が一つの町であるという共通の思いをみんなが持つことが、大変大事なことであると思います。

このための一つの方法として、合併を記念して新たなお祭りをというご質問ですあります。現在、町内の大きなお祭りとしては、幕別地域では、7月に夏フェスタ、10月に産業まつり、忠類地域では、2月に全道ナウマンそり大会、10月にはどんとこい村まつりが開催されています。

この他にも、幕別、忠類両地域で盆踊りやそれぞれ色々なお祭りイベントが開催されておりますが、こうしたお祭等は、それぞれの地域の特色を生かし、更には長年にわたって開催されてきたという歴史もあります。

町としましては、新たなお祭りを企画するというのではなくて、まずは、お互いのお祭りに参加し、地域の歴史、特色を知ることが大切なことであろうというような考えから、合併後は、幕別で大きなお祭りがあるときには忠類から、忠類でお祭りがあるときには幕別から無料の送迎バスを運行することとしております。

これらのバスを利用していただいて、幕別、忠類の両地域の皆さんが交流をし、お互いを知ることが、みんなで仲良く過ごしていくことにつながっていくんだろうというふうにも思っております。

また、両地域の住民の皆さんの交流が更に図られるように、関係者の皆さんと相談をしながら新たなお祭りなどについても考えさせていただきたいというふうに思います。

以上で、館 侑子議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

議長（二川咲恵） 以上で、館 侑子議員の質問を終わります。

次に札内南小学校 五嶋 渉議員の発言を許します。

9番、五嶋 渉議員。

9番（五嶋 渉）

夏休みに家族旅行に出かけたとき道の駅にたくさんの方がいるのを見ました。忠類にはありますが、幕別や札内にはありません。そこで、札内や幕別にもつくって、幕別の特産物を売ったりすれば人も集まるし、たくさん農産物も売れると思うのですが、いかがでしょうか。

議長（二川咲恵） 岡田町長。

町長（岡田和夫）

五嶋 渉議員のご質問にお答えいたします。

道の駅の設置についてであります。

道の駅は鉄道に駅があるように道路にも駅があっても良いのではないかという事で誰もが24時間自由に立ち寄り利用できる休憩施設として生まれたものであります。

道の駅として登録されているのは平成18年8月10日現在、日本全国で845箇所、北海道では95箇所あります。十勝管内では、陸別、士幌、足寄、鹿追、大樹、中札内、更別、音更、幕別町忠類の9町村で12箇所の道の駅があります。

これらの施設は、24時間利用可能な駐車場、あるいはトイレ、公衆電話等が設置され、道路や地域の情報提供等も備えた施設で、地域振興のために、あるいは、歴史・文化・観光・物産等に関する情報の提供と交流の場としても活用はされています。

五嶋議員のご質問にあるように幕別地区にもあれば、国道38号線を通行する十勝地域の人達や多くの観光客の人達にも、幕別町の特産品等を大いにPRできるものと思っておりますが、今年は、忠類の道の駅を今新しく整備をしているところであります。

今後、幕別地区の道の駅のあり方については、現在、幕別町の物産協会の呼びかけで、商工会ですとか農協等が道の駅の設置について検討をしているというふうにかがっております。私どももこれらの動きを見守りながら道の駅についての今後の対応をしていきたいというふうに思っているところであります。

以上で、五嶋 渉議員に対する答弁とさせていただきます。

議長（二川咲恵） 以上で、五嶋 渉議員の質問を終わります。

次に札内南小学校、道下郷大議員の発言を許します。

10番、道下郷大議員

10番（道下郷大）

僕の住む札内地区では公園がたくさんあります。しかし、公園によっては、遊具が少なかったり、全く子どもたちが遊ばない遊具があります。そこで、公園の遊具について、大人の意見だけでなく、子どもたちにアンケートをとるなど、子どもたちの意見をもっと聞いてみてはいかがでしょうか。

議長（二川咲恵） 岡田町長。

町長（岡田和夫）

道下郷大議員のご質問にお答えいたします。

公園の遊具を設置する時には、子供達の意見を聞いてはとのご質問であります。

幕別町では、現在91箇所の公園が利用されておりますが、以前の公園建設においては、町の主体的な考え方により整備を進めておりましたが、最近の公園建設においては、ご質問いただきましたように子供達を含めた幅広い意見をお聞きし、公園の整備計画に取り入れております。

平成14年に完成いたしました若草南公園の計画においては、公園を利用される子供達からお年寄りまでの意見をいただくためワークショップというようなものを開催いたしました。このときは25名の方が参加いただいたんですけれども、このうち小学生が7名いらっしゃいました。そうした中で、この公園に芝生広場を設けてはどうだ、築山をつくってはどうだ、遊具はこんな物がどうといった様々な意見が出されました。それらを検討し、それらの意見を取り入れた中で今の若草南公園が建設された経緯があります。

また、去年はこれから建設が予定されております、北栄地区の公園計画においても、同じように広く住民の皆様の見解をお聞きするためのワークショップを開催し、今建設を進めております。

町といたしましては、今後の町づくりを進めるうえで、子どもたちの意見をお聞きすることは非常に大切なことであろうというふうに考えておりますので、既存の公園の遊具の取り替える必要がでたようなときにも、また皆様のご意見、あるいは公区や地域の皆様にも相談して、お話しありましたように、場合によっては、アンケート調査なども行ってまいりたいというふうに思っております。

以上で、道下郷大議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

議長（二川咲恵） 以上で、道下郷大議員の質問を終わります。

次に忠類小学校、三島佳衣斗議員の発言を許します。

11番、三島佳衣斗議員。

11番（三島佳衣斗）

合併したのですが、あまり幕別の人達と交流する機会がないので、交流する機会を増やしてほしいと思います。例えば、キャンプやゲーム大会、工作教室などを企画してもらえると交流できると思うのですが、いかがでしょうか。

議長（二川咲恵） 高橋教育長。

教育長（高橋平明）

三島佳衣斗議員のご質問にお答えをいたします。

忠類と幕別が合併いたしましたして、間もなく1年になります。交流の機会がたくさんあると、違う学校の友だちができますし、お互いの地域の様子も理解し合うことができます。

町中の小学生や中学生が一度に集まる機会は、陸上大会やスケート大会があります。

また、意見発表大会や英語暗唱大会、ジュニア教育委員会では、ふだん接することのない他校の友だちの考えていることを知ったり、意見を交わすことができます。

このほか、子ども会主催の行事、リーダー研修会、ふるさと館ジュニアスクール、あるいは、図書館で行う催しなど、だれでも自由に参加でき、みんなと学んだり遊んだりするチャンスはたくさんあります。ジュニアサタデースクールでは今年初めてネイパル足寄で1泊2日の宿泊研修をしましたが、忠類からも3人の小学生が参加してくれています。

交流を更に深めるなら、他の学校の友だちと一緒に旅をする国内研修や海外研修があります。国内研修は九州の日向市、日向市は合併前は東郷町でありました。更には、埼玉県上尾市、神奈川県開成町へ行きます。中学2年生になると、海外研修でオーストラリアへ行くチャンスがあります。是非、こうした研修に積極的に応募し、町内はもちろん、道外や海外にも新しい友だちをたくさん作ってほしいと思います。

以上で、三島佳衣斗議員の質問への答弁といたします。

議長（二川咲恵） 以上で、三島佳衣斗議員の質問を終わります。

次に忠類小学校、高島久遠議員の発言を許します。

12番、高島久遠議員。

12番（高島久遠）

最近特に、忠類の市街に落ちているゴミが多い気がします。この様な問題に対して何か取り組みがあれば教えてください。もし、ゴミ拾いなどの活動をした場合、役場ではどのような協力をしてもらえますか、お伺いいたします。

議長（二川咲恵） 岡田町長。

町長（岡田和夫）

高島久遠議員のご質問にお答えいたします。

市街地に落ちているゴミの対策についてであります。

はじめに、落ちているゴミに対する取り組み方法についてであります。

先ほど土橋議員のご質問にもお答えをいたしました。ゴミを捨てづらくするために、ゴミが捨てられるような場所にはゴミ捨て禁止というような看板を立てる。ゴミが捨てられているところには次々とゴミが捨てられることから、ゴミを見つけたらできるだけ早く拾う。多くの方にゴミ拾いに協力していただき、ゴミを捨てない人たちの輪を広げる。

町では、この3点に重点を置いて取り組んでいるところでありますが、皆さんも落ちているゴミを見つけたら、ゴミを拾っていただくという取り組みにご協力いただければというふうに思います。

次に、ゴミ拾い活動への役場の協力についてであります。皆さんたちがゴミ拾い活動を行う場合、事前にご連絡をいただければ、ボランティアシールというものを提供いたします。どんなゴミ袋でもよろしいですからゴミ袋にこのシールを貼っていた

だき、ゴミステーションに置いてくだされば、普段のゴミ収集と一緒に無料で収集をいたします。

また、集めたゴミをボランティアシールがない場合でも、ご連絡いただければ、集めたゴミを引き取りにまいりたいというふうに思います。

町民の皆さんで、きれいな住みよいまちづくりを進めるためにも、重ねて皆さん方のご協力をお願いしたいというふうに思います。

以上で、高島久遠議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。

議長（二川咲恵） 以上で、高島 久遠 議員の質問を終わります。

議長交代のため、ここで暫時休憩します。

これをもちまして、私の議長の任は終わりました。皆さんのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。